

令和3年度サービス管理責任者等研修検討会 活動報告

概要

サービス管理責任者研修及び児童発達支援管理責任者研修（以下「サービス管理責任者等研修」という。）を円滑かつ効果的に行えるよう、研修カリキュラム等について検討する。

【活動方針】

- ・「東京都のサービス提供事業所において障害児者の豊かな生活の実現に向けて取り組む現場のリーダーの姿 Ver.4」に基づき、研修内容を検討する
- ・基礎研修、更新研修、専門コース別研修で使用する教材のブラッシュアップを図る。また、令和3年度に実施する実践研修の教材を完成する
- ・各研修ファシリテーター説明会の内容を検討する
- ・質の高い研修を継続して実施するため、次期講師の育成と講師間の関係づくりを目的としたサービス管理責任者等研修演習指導者養成研修を実施する

【委員構成】

| | | 氏名 | 所属 |
|----|------|--------|------------------|
| 1 | | 会田 真一 | 社会福祉法人ひらイルミナル |
| 2 | 副委員長 | 秋谷 直子 | 社会福祉法人東京コロニー |
| 3 | | 浅野 日奈子 | 社会福祉法人南風会 |
| 4 | | 大塚 慎之介 | 社会福祉法人福田会 |
| 5 | | 岡田 哲也 | 社会福祉法人雲柱社 |
| 6 | 副委員長 | 奥秋 征人 | 社会福祉法人正夢の会 |
| 7 | | 小出 由貴子 | 社会福祉法人友愛十字会 |
| 8 | | 相良 宏司 | 社会福祉法人東京援護協会 |
| 9 | | 清水 美代 | 社会福祉法人正夢の会 |
| 10 | 委員長 | 妹尾 和美 | 明星大学 |
| 11 | | 徳武 孝 | 社会福祉法人足立邦栄会 |
| 12 | | 橋爪 亮乃 | 社会福祉法人さくらの園 |
| 13 | | 樋口 勝 | 社会福祉法人本郷の森 |
| 14 | 副委員長 | 宮田 理恵 | 特定非営利活動法人めぶき |
| 15 | | 渡辺 哲男 | 社会福祉法人調布市社会福祉事業団 |

【各研修の検討体制】 ◎印：チームリーダー

| 検討チーム | 委員 |
|-----------|-----------------|
| 基礎研修 | ◎奥秋、相良、大塚、岡田、橋爪 |
| 実践研修 | ◎宮田、浅野、小出、樋口、渡辺 |
| 更新研修 | ◎秋谷、会田、清水、徳武 |
| 専門コース別研修 | 大塚 |
| 演習指導者養成研修 | 相良、橋爪 |

・年4回の検討会以外に、各チームとも対面式やオンラインで4回程度の打合せを行った。

【活動状況】

| | 日程 | 検討事項 |
|-----|--------|--|
| 第1回 | 5月27日 | 委員長・副委員長選出 年間研修実施計画について 検討会年間活動方針及び計画案について 各研修チーム活動スケジュールについて |
| 第2回 | 8月27日 | 令和3年度サービス管理責任者等指導者養成研修会（国研修）受講報告 各研修プログラムの検討 |
| 第3回 | 10月29日 | 令和4年度サービス管理責任者等専門コース別研修企画案について つながりを意識した研修プログラムの作成について 各研修プログラムの検討について |
| 第4回 | 3月18日 | 年間のまとめ つながりを意識した研修プログラムの作成について 令和3年度に向けての引継ぎ事項の確認 |

活動成果

【活動成果1 研修プログラムの検討と教材作成】

○基礎研修

- ・令和2年度の演習ノートを見直し、ブラッシュアップを図った。
- ・第1回研修の演習が動画配信となり、模擬演習の撮影用に進行スライドやマニュアルを修正した。
- ・第2回研修の演習がZoomによるオンライン実施となり、それに伴い、進行スライドやマニュアルを修正した。
- ・研修の教室進行・ファシリテーターを対象に、ファシリテーター説明会を実施し、研修の内容と研修におけるファシリテーションのポイントを伝えた。また、研修後には、振り返り会を実施し、次年度の教材作成に向けて情報収集を行った。

○実践研修

- ・令和2年度に検討したプログラム案をもとに教材を作成した。また、演習のZoomによるオンライン実施に向けて、進行スライドやマニュアルを調整した。
- ・研修の教室進行・ファシリテーターを対象に、ファシリテーター説明会を実施し、研修の内容と研修におけるファシリテーションのポイントを伝えた。また、研修後には、振り返り会を実施し、次年度の教材作成に向けて情報収集を行った。

○更新研修

- ・演習を1日に2日程実施するために、演習の一部を動画配信で実施するプログラムに修正するとともに、Zoomによるオンライン実施に向けて進行スライドやマニュアルを修正した。
- ・研修の教室進行・ファシリテーターを対象に、ファシリテーター説明会を実施し、研修の内容と研修におけるファシリテーションのポイントを伝えた。また、研修後には、振り返り会を実施し、次年度の教材作成に向けて情報収集を行った。
- ・サービス管理責任者等指導者養成研修会で伝達されたスーパービジョン部分の内容を検討会で共有した。

○専門コース別研修

- ・令和2年度に作成した児童分野の内容を微調整して実施した。
- ・令和4年度の実施に向けて、サービス管理責任者等指導者養成研修会専門コース別研修部分の内容を踏まえて、プログラムを再構成した。

【活動成果2 講師の養成】

- ・演習講師や関係団体等からサービス管理責任者等研修演習指導者養成研修への推薦者を募り研修を実施した（修了者18名）。
- ・基礎研修の講師を養成するためのサービス管理責任者等研修演習指導者養成研修のプログラムを検討し、教材を作成した。
- ・基礎研修、実践研修、更新研修の実施前にファシリテーターへの説明会を実施した。

【活動成果3 つながりを意識した研修プログラムについての検討】

- ・今年度から実践研修が加わり、新しいカリキュラムでの研修が揃った。各研修のチームリーダーである副委員長を中心に、つながりを意識した研修プログラムを作成するための工夫の検討や、各研修の内容として重なる要素の整理をした。

【活動成果4 サービス管理責任者等指導者養成研修会への参加】

- ・令和3年6月29日から7月1日及び令和4年3月1日（フォローアップ部分）開催のサービス管理責任者等指導者養成研修会に、検討会委員4名が参加。情報を収集し、研修プログラムに反映した。

【活動成果5 その他】

- ・基礎研修、実践研修、更新研修、専門コース別研修事業の受託者が、オブザーバーとして検討会に出席。各研修の実施状況等について報告するとともに、検討会での検討結果を踏まえて、各研修を実施した。

今後に向けての取り組み

| | |
|------|--|
| 基礎研修 | <ul style="list-style-type: none">・研修の中で相談支援事業所との連携にしっかり触れていくために、講義の中でイラストを使う等、伝える工夫をしていきたい。・児童分野の参加者にとってわかりやすい内容になるよう、演習の中で児童分野のファシリテーターから補足の説明のコメントを入れてもらう等、工夫をしていきたい。・演習の最後に実践研修に向けて、実践研修受講までの期間に自分がやるべきことややりたいことについて、アクションプランとして考えてもらうことを入れ込みたい。・実践研修までのOJTについて、指導者養成研修の資料を参考に、どんなことをするのかを伝えられるように修正をしていきたい。 |
| 実践研修 | <ul style="list-style-type: none">・演習2は、最初のワークのためもう少しシンプルなものにしていく。・演習3は、事例検討会も受講者がグループでできるようなものにできないか検討していきたい。・演習4は、ワークシートの使い方や、モニタリングについて、答え合わせのような受講者と共有できる形にすることを検討したい。・演習5は、個別支援会議のデモ映像を視聴することにしたが、視聴後に実際に受講者に会議を体験してもらうといったワークを増やすことを検討する。・演習6は、関係機関との連携について深められるようなワークを増やしていきたい。(自立支援)協議会に関しては、知るということを中心に行うことや、更新研修との連動性を考慮していくことが大事になる。・研修資料をオンライン版に修正する。・教室進行中心で進めている演習について、ファシリテーターの協力を得ていくことも考えたい。発表の順番やグループワークの役割は、自由度がある方法にしていくことを検討していきたい。・ブレイクアウトルームの時間を増やすことを考えたい。模擬会議を受講者にやってもらうなど、ブレイクアウトルームの使い方や、頻度、どこでどのようなことをやってもらうか整理をしていきたい。 |

| | |
|------|--|
| 更新研修 | <ul style="list-style-type: none">・来年度は更新研修の実施が4年目になり、全体的にはブラッシュアップしたいと考えている。・関係機関との連携の実践報告について、内容の検討が必要・演習では、サビ管・児発管としての自己検証と事業所としての自己検証は、目標は変わらないがそれぞれ重なり合うところもあるため、プログラムの内容を整理していきたい。・グループワークの時間を少し長くすることを検討したい。・各グループに1人ファシリテーターを配置することが難しい場合は、受講者だけでスムーズに進行できるような説明の工夫を考えたい・令和6年度から更新研修にスーパービジョンを取り入れることになるが、実施の1年前から準備するというのは難しいと思われる。令和4年度から準備を始めることについて検討したい。 |
|------|--|